

広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

December [No.706]

12・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2003年[平成15年]

Contents [12月の主な話題]

- 第5回女性議会開催…………… 2
女性ならではの意見や要望を
村政に取り入れるために
- 平成15年度事務事業評価取り組み状況…………… 6
事務事業評価結果をお知らせします！
- 東海村区長会研修会レポート…………… 8
多様化・複雑化する地域社会に対応するため
- ず〜むあっぷ「まちの風景」……………10
- 青少年育成体験記(PART. 45)―[村松]山崎裕基さん……………12
少年サッカーの指導を通して
- 今どきの青少年(VOL. 55)―[村松]沼田郁美さん……………13
関東大会に出場して
- 知ってほしい！ 国民健康保険……………14
- 図書館トピックス……………15
- いんふおめーしょん……………17
- わが家の子育て奮戦記……………20
[白方]高津知架子さん・麻実ちゃん



第5回女性議会



女性のしなやかな視点と感性からとらえた意見や要望、提案などを村政に取り入れるとともに男女共同参画と女性の地位向上に対する理解を深めることを目的に、「第5回女性議会」が11月18日に開催されました。一般公募で集まった1日女性議員16人は、日常生活やさまざまな活動を通して気付いた問題を村の執行部に提案、東海村の輝かしい将来について話し合いました。新しい社会の実現に向けた貴重な意見・提案の一部を紹介します。

放課後の子どもたちの過ごし方



山本浩美さん
(村松)

共働きの家庭が増え、子どもだけで留守番している

家庭も少なくはなく、つくば市などでは無料で子どもの面倒を見てくれる児童館の学童クラブを利用しているそうです。東海村では普通の日の放課後の過ごし方についてどのように考えているのかお聞かせください。

●橋本福祉部長——村に児童館はありませんが、空き教室や保護者等が確保した施設で学童クラブを実施しており、全小学校区に開設しています。放課後児童の健全育成のため、平成13年度に「学童クラブ整備方針」を定め、学校の敷地内や隣接地へ順次学童クラブの施設を建設する計画で、今年度は、石神・舟石川小学校の敷地に建設します。なお、学童クラブは、保護者の会が主体となって運営しています。各コミュニティセンターのほか、平成16年4月にオープン予定の総合福祉センター内の児童センターが、日曜日を除く毎日開館しますので、遊びの場として、

また、異年齢児の交流の場として利用できるものと考えています。

石神小学校「石神ホール」の活用



阿部典子さん
(石神外宿)

新校舎内に「石神ホール」という地域の方々の交流の場が設置されるそうですが、具体的な活用をお聞きします。

●高橋教育長——児童たちと地域の方々の交流の場として、「石神ホール」という多目的に利用することができると設置しました。地区の方々がゲストティーチャーとして招いて、読み聞かせや昔の遊びなどの指導をしていただくことなども考えています。今後は、児童、保護者、先生、地域の方々と検討して特色あるホールの使い方を考えていただきたいと思います。

インフルエンザ対策



海老原レイ子さん
(舟石川)

毎年猛威を振るっているインフルエンザ対策について、ワクチンおよび薬の確保は十分なのでしょうか。

●小松病院事務局長——平成14年度の東海病院でのインフルエンザワクチン接種は1283人。過去の実績から、今年は1200人分のワクチンを発注し、現在1000人分入庫済です。状況により追加発注したいと考えています。かかった場合の薬(タミフル)は、発症後48時間以内に投与することで非常に治療効果が高く、昨年は400カプセル購入したもので、今年は1000カプセルと子ども用ドライシロップを3キログラム注文し、現在200カプセル、300グラム入庫済です。残分については、11月下旬入庫予定です。

学校教育の中の障害児教育



井上寛子さん (村松)
教育に関する観点から、
でもバリアフリー化推進等

すべての子どもが生き生きと学べるよう特別支援教室を取り組んでいたことと、学校教育の中の障害児教育の具体的な取り組みをお聞きます。

●高橋教育長——小学校では、特殊学級から普通学級、逆に普通学級から特殊学級への通級指導を

行っており、3つの特殊学級(知的障害・情緒障害・言語障害)のある白方小学校では幼稚園・保育所の幼児も通級指導を行っています。また、障害のある子ども一人ひとりに細かな支援を行う体制として、5つの小学校に生活指導員を7人配置し、5つの幼稚園にも11人の介助員を配置しています。

生涯学習



後任 床井順子 (村松)
現在、生涯学習という言葉が定着してきて、村では

多様な講座が開設されていますが、何がどこで行われているのかわかりにくく把握できません。あらゆる講座と活動を網羅した生涯学習のための総合ガイドブックを作る計画などがあるのでしょうか。

●小林教育次長——村では、生涯学習指導者の情報提供手段として「この村大好き!」とうかい交遊共学ガイド」を平成13年度に作成し、公共施設等に設置しています。ほかに、中央公民館主催講座の案内チラシの作成や、青少年活動を紹介した「てんこもり」、図書館要覧、体育関係の情報誌「マイスポー

ツ」の発行等を行っています。また、行政の役割や事業内容などを住民の方が学習する出前講座を開設しています。しかしながら、全体を包括した情報提供誌は現在作成していませんので、今後、総合的な生涯学習情報誌の発行を検討していきたいと考えています。

自転車によるまちづくり



井坂愛子さん (石神外宿)
放置されている自転車を、現在、計画中の自転車

によるまちづくりに利用できないでしょうか。

●関田経済環境部長——村では、地球環境に配慮した、クリーンで健康的な交通手段としての自転車利用推進実現のため、平成14年度から「自転車によるまちづくりを考える会」を設置し検討しています。まだ具体的な計画等は決まっていますが、放置自転車の再利用も視野に入れて検討したいと考えています。また、ごみ集積場や清掃センターに搬入される自転車を再利用できるよう修理し、家具や日用品等とともにリユース品として、常時展示、販売しています。

祭事



久保順子さん (村松)
「祭り」と名がつく行事が年間通して多いと思われる

ので、絞り込みをしてもっと中身の濃いものにするべきではないでしょうか。「東海まつり」についても、熱意のこもった若者たちの踊りや音楽を表現する場としての企画ができると思いますので、テーマのある祭りを期待します。

●関田経済環境部長——祭りを担当する経済課では、東海の3大祭りといわれる春の「東海さくらまつり」、夏の「東海まつり」、秋の「I・S・M・Oのまつり」を実施しています。各祭りはそれぞれに趣旨の異なるものなので、意義のある祭りを継承することが文化としてつながっていくものと考えます。「東海まつり」については、実行委員会の中でも見直しの意見が出ており、住民参加による企画を期待して、若者やグループ等が積極的に参加できるように今まで以上の盛り上がりを見せることができなにかと考え、実行委員会の打ち合わせ会等に最初から参加してい

ただけるよう早めに周知を図りたいと考えています。

職員の意識改革



川亦洋子さん (村松)

役場職員をはじめコミュニティセンター職員などの村に関わる職に就いている方に対しては、サービス業で行っているような「お客さまの声」を取り入れ、自覚を促すよう努めていきたいと思っています。



村上村長

的・根本的な研修を行っていききたいと考えています。

●村上村長——コミュニティセンター職員等は、その役割や地域住民との対応について、基本的なマニユアルなどの整備が必要だと思います。役場職員については、採用されたときの新規採用職員研修において接遇研修を行い、採用後1年を経過した職員についても再度接遇研修を行っていますが、それでも十分とは思っていません。根本は公務員としての心構えにならざると思いませんので、住民への奉仕の意識を徹底し、今後、技術

自転車道・歩道



恵利いつさん (村松)

歩道を兼ねた側溝のふたがずれ、あいたすき間やかなりの段差があったり、また、東海中学校の裏通りなどは車道と歩道を分ける白線はあるものの、スピードを出して走ってくる車があったりと、歩行者にとっては大変危険な状態です。安全で快適な自転車利用を促進されている点からも、自転車道・歩道の確保、整備の計画についてお聞きします。

●増淵建設部長——側溝のふたがずれているなどの危険な箇所がありましたら、早急に対処しますのでご連絡ください。東海中学校の裏通りは区画整理事業により、両側2・5メートルの歩道のある幅員12メートルの道路として、平成18年度からの整備計画になっていますので、改良されるまで十分注意していただきたいと思います。また、自転車道や歩道が確保された道路の実現には膨大な事業費が必要で、まずは、地域の方々と村とで知恵を出し合って工夫する方法から行いたいと考えます。

子育て支援の充実



宇佐美美穂子さん (白方)

日立市では、小学校入学時に保護者の負担軽減のため、市からランドセルの支給がありますが、東海村では無償支給についてどうお考えでしょうか。

●小林教育次長——村では保護者の負担軽減のため、本村独自の施策として、教材費や米飯給食、宿泊学習や音楽発表時のバス代、中学校の自転車通学している生徒に対してのヘルメット購入など、多方面に毎年総額5000万円以上の助成を行っています。ランドセルについては、おじいさんやおばあさんがプレゼントするのを楽しみにしているという話を聞いています。保護者の方などのご負担とは思いますが、プレゼントを通じて感謝の心やいただいた物を大切に使うということも学べるものだと思いますので、これも一つの教育につながるのではないかと考えています。ですから、ランドセルの無償支給については現在のところ考えていませんので、どうかご理解いただきたいと思います。

都市計画マスタープラン



鴨志田榮子さん (石神外宿)

都市計画マスタープランに、住宅地の景観づくりについて「住民・事業者・行政の連携」とありますが、具体的にどのように進めるのでしょうか。

●増淵建設部長——当プランの景観まちづくり方針にある「住民・事業者・行政の連携」は、駅前の区画整理事業地域などで、地区計画により街並みの統一感を持たせたり、景観を損なう違法な屋外広告物を地域の方々が自ら撤去等を行い、行政がサポートするという里親制度を茨城県などに依頼したり、緑地景観を保つ公園の維持・管理についても、3者による協働の公園づくりを行うという新たな体制づくりを推進するものです。

ふれあい・いきいきサロン



議長(午前)を務めた友部孝子さん (村松)

ふれあい・いきいきサロンに通う人たちと地域の保ちと交流はできないでしょうか。

●橋本福祉部長——ふれあい・いきいきサロンは、社会福祉協議会が推進している事業で、住民主体の地域福祉活動として定着しています。高齢者にとつて孫やひ孫のような年代のお子さんとの交流は、介護予防の観点からも有効だといわれています。サロンの中には、地域の保育所に出向き交流したいと考えているところもあると聞いていますので、関係機関と調整を図り、子どもとの交流を通してサロン活動を推進することを、社会福祉協議会に提言したいと思っています。

多言語での行政情報提供



アリスノコウチさん (船場)

外国人居住者のための多言語での情報提供について

て、これまでの体制や今後の計画、また、印刷物の翻訳の品質管理についての予算措置などをお聞かせください。

●清水企画総務部長——村では、住民課の窓口で英語が話せる職員を配置したり、課名や胸章に英語の表示をするなど、国際化対応を進めています。現在、多言語

での情報提供の体制は、東海村国際交流協会等に依頼して行っています。今後、「東海在住外国人のためのハンドブック」については、中国語版、韓国語版の発行を予定していますので、母国語に翻訳できる業者に委託して高品質のハンドブックを発行できるようにと考えています。また、英語での屋外放送や「広報とつかい」への英文記載について、翻訳作業のための予算措置を講じています。

資源ごみの分別収集



黒澤妙子さん (石神内宿)

資源ごみの分別収集時、立ち合い当番者の人数を減

らしても良いのではないのでしょうか。また、トレー、アルミ缶の分別収集計画や、ペットボトル等をいつでも持ち込める公設の場所の設置についてもお聞きします。

●関田経済環境部長——立ち合い当番者の人数は、地域に任せており制限はしていませんので、地域の区長にご相談されますようお願いいたします。トレー、アルミ缶の分別収集計画ですが、家庭から排出される一般廃棄物の中でトレーを

含むプラスチック製容器関係は大きな割合を占め、また、大切な資源でもあるため、その有効利用を図るためにも平成17年度からの完全実施に向けて計画しています。いつでも持ち込める公設の収集場所の設置については、村民の意識と協力で分別状況がよくなってきたので、現時点では、従来どおりの月2回の頻度でのカレンダー方式による収集でご理解いただきたいと思っています。

「舟石川地区くらしのみちづくり」



村山かおるさん (舟石川)

10月19日の「発見探検隊」の実施により作成した

「ちよっと！ いわせてマップ」は、どのように活用されるのでしょうか。

●増淵建設部長——「発見探検隊」では、歩行者および車いすでの視点で実際に歩き、問題点の発見に努めました。抽出された問題点について、皆さんと対話する場としてこれから行う「みちづくり塾」にて論議していきたいと思っています。行政が今までのように道筋を立てるのではなく、道路を提供す

る行政とそれを利用する住民とが情報を共有し、知恵を出し合い、共学で考える場づくりをしていきたいと考えています。マップは、舟石川コミュニティセンターに期間を決めて展示します。

小学校の英語教育の必修化



井野三枝子さん (船場)

現在、小・中学校に村独自でスタディサポーターを

配置し、英語教育により一層取り組んでいると思いますが、国際化の流れに子どもたちが十分対応できるように小学校からの英語教育の必修化を要望します。

●高橋教育長——現在の学校教育法の規定には、「小学校の教科に関する事項は文部科学大臣がこれを定める」とあり、この教科の中に英語が入っていないので、英語の必修化については法的に拘束を受けており必修にすることはできないのが現状です。ただし、小学校では、「国際理解教育」の時間の中で、英語に慣れ親しみ、歌やゲームなどの楽しい活動を通して、将来の英語学習の動機付けを図る授業や英語活動を行っています。

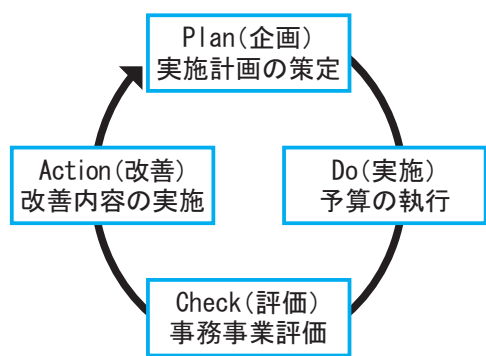
事務事業評価の目的

事務事業評価は、①評価を通じて総合計画の進行管理を行う②コストを意識した効率的・効果的な行政運営を目指す③事業を分かりやすく説明することで村民参加のまちづくりの推進に寄与するの3点を目的に実施しています。

評価制度運営の基本方針

事務事業評価の実施に当たっては、①P(企画)・D(実施)・C(評価)・A(改善)サイクルを確立させる②評価結果を反映させた実施計画(※2)の策定を行い実効性を高めていく③評価制度を発展させながら定着させる——の3つの視点を基本的な考え方として実施しています。

行政運営サイクル図(PDCAサイクル)



事務事業評価結果をお知らせします

村では、平成14年度から新たな取り組みとして事務事業評価を実施しています。事務事業評価とは、行政の行っているさまざまな仕事を、評価指標(※1)と呼ばれる数値を使って分析し、妥当性、成果、効率性の3つの視点から検証した上で総合評価を行い、今後の事業の方向性を導くためのもので、「継続的に事務事業を改善していく仕組み」です。

導入2年目となる今年度は、6月を事務事業評価月間として取り組んできました。評価結果の詳細については来年1月に公表する予定ですが、これに先立つ形で、今年度の取り組み状況等についてお知らせします。

取り組みの経過

《4月14日》
平成15年度の方針決定

《5月20日》

事務事業評価セミナーの開催

《5月27日・29日》

事務事業評価実施説明会の開催

《6月2日・30日》

事務事業評価の実施

(事務事業評価月間)

《7月7日・18日》

事務事業評価ヒヤリングの実施

評価の内容

■対象事業：村で行っている全予算事業837事業のうち、原則として2年以上実績のある事務

事業の中から、健康診断事業や野犬対策事業など、住民の皆さんに直接かわかるものを中心に247事業を選定し、評価を実施しました。

■評価方法：昨年度の事業の実施結果に基づき、各事業課の担当職員が中心となって、事務事業評価チェックシートへ記入することにより行いました。このチェックシートで事業の目的や意図する成果・対象・内容などを明らかにし、事業の結果を数値で表す指標を基に3段階の評価を行った上で、今後の事業の方向性を導き出しました。

事務事業評価の流れ

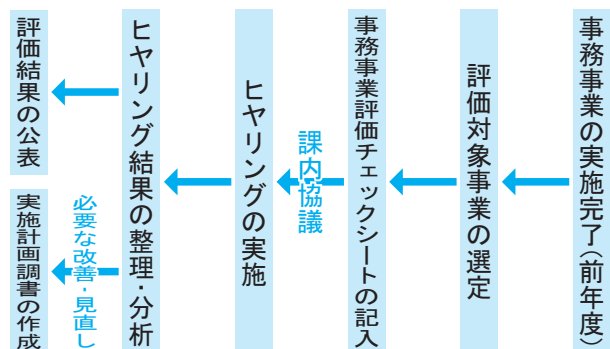


表1 評価対象事業の種類

事務事業の種類	事業数
1. イベント実施型(文化祭、成人式など)	46
2. 普及啓発・情報提供型(講座開催など)	49
3. 施設運営・維持管理型(コミュニティセンター管理など)	34
4. 補助・給付型(費用助成など)	67
5. ハード整備型(村道整備など)	13
6. 組織運営型(審議会、委員会など)	10
7. その他(上記に当てはまらないもの)	28
合計	247

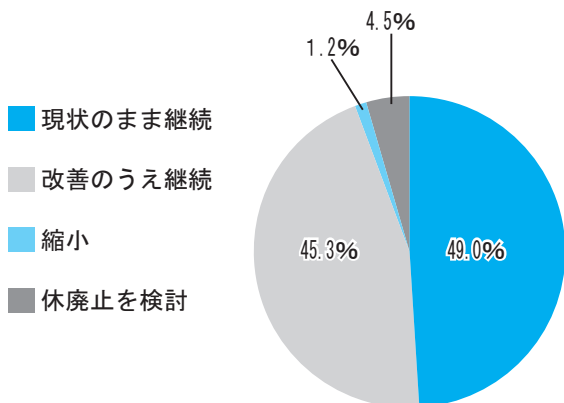
表2 評価結果一覧

評価項目	妥当性 (実施主体、 手段等は 妥当か)	成果 (意図した 成果が 上がって いるか)	効率性 (コスト面 から見た 効率性)	総合 評価
A	おおむね 妥当である (222事業)	おおむね 上がって いる (203事業)	やや高い (185事業)	162事業
B	あまり 妥当では ない (19事業)	あまり 上がって いない (36事業)	あまり高く ない (48事業)	65事業
C	妥当で ない (6事業)	上がって いない (8事業)	高くない (14事業)	20事業
合計	247事業	247事業	247事業	247事業

表3 事業の方向性

今後の方向性	事業数	割合
現状のまま継続 (現状維持での事業継続する場合)	121	49.0%
改善のうえ継続 (事業主体、手段等を 改善した上で継続する場合)	112	45.3%
縮小 (対象など事業の規模を 縮小する場合)	3	1.2%
休廃止を検討 (事業の廃止、休止、 他の事業との統廃合などを 検討する場合)	11	4.5%
合計	247	100%

構成比



評価の結果(概要)
評価結果については、現状のまま継続する事業が121件(49・0%)、改善を行った上で継続する事業が112件(45・3%)、縮小する事業が3件(1・2%)、休廃止を検討するとした事業が11件(4・5%)という結果になりました。このことから、約半数の事業が周知方法や実施時期・期間など何らかの改善を行う結果となり、一定の成果が出ているものと考えています。

なお、現在これらの評価結果を活用し、実施計画を策定しているところです。

個別の事務事業の評価結果については、平成16年1月にコミュニティセンターや図書館などの公共施設へ配置するとともに、ホームページ上で公表する予定です。また、村民の皆さんには公表を通して取り組みの内容を知っていただくとともに、評価についてのご意見などをお寄せいただくことにより、今後の評価制度に反映させていきたいと考えています。

問合せ

政策審議室 ☎282局1711
内線1371 電子メール seisaku@vil.tokai.ibaraki.jp

※1 評価指標とは…

事務事業評価に活動状況や現状を数・量で表す数値のことで、「事業がどれだけ実施されたか」「計画量の何%が達成されたか」「事業費から見た効果はどうか」など、「評価の判断の根拠」となる重要な役割を持つものです。指標化することによって、あいまいになりがちな行政活動を明確にすることができます。

具体的には、次の3種類の指標により評価を行っています。

- ①活動指標(アウトプット)…行政活動量やサービス量など、事業の結果量を測定するものです。
- ②成果指標(アウトカム)…事業の目的がどの程度達成されたかを測定するものです。
- ③効率指標…行政活動の効率性を表し、事業コスト(単価)を測定するものです。

※2 実施計画とは…

平成12年度に策定した東海村第4次総合計画「とうかい21世紀プラン」の実現に向け、3か年に実施する予定の事業を定めて予算編成の指針とするもので、次の項目から構成されています。

なお、実施計画については、来年3月末にコミュニティセンター等に配置するとともに、村民の皆さんに無料で配布する予定です。

- ①村の財政状況および今後の財政運営の方針
- ②財政計画
- ③総合計画の施策体系に基づく事業計画

東海村区長会 研修会レポート

平成12年に施行された地方分権一括法を受けて全国的に地方自治・住民自治の気運が高まる中、東海村区長会（黒羽根弘一会長）では、多様化・複雑化する地域社会に対応するため、今年度、自治会制度実施に向けた検討会を定期的に開催しています。今回の研修会では、10月15日から17日までの3日間にわたって、地域自治が確立されている岩手県藤沢町、自然環境と都市との共生を目指す山形県遊佐町、風力発電による環境活動に取り組む山形県立川町の3町を視察し研修を行いました。各自治体での先進的な取り組みなどを中心に、視察研修の内容を報告します。

■問合せ 企画総務部自治推進課自治推進係 ☎282局1711 内線1341

岩手県藤沢町



PROFILE—ふじさわ

- 面積／123.15km²
- 世帯／2,981世帯
- 人口／10,313人

≫岩手県の南端に位置する緑豊かな農山村。北に千厩町と川崎村、西に東北一の大川・北上川をはさんで花泉町、東に室根村、南東に宮城県東和町と本吉町にそれぞれ隣接しており、両磐広域市町村圏に属している。町土の約60%が南部北上山系に連なる山林である。

▼怖かったのは「心の過疎」

昭和30年に誕生した藤沢町は、高度経済成長長期に多くの若者が都市に流出したことで急激に過疎化が進み、昭和46年には過疎地域の指定を受けています。そのころの藤沢町は、町民が地域への誇りや希望を失ってしまふ、いわば「心の過疎」から、地域コミュニティは崩壊寸前となっていました。その危機感から、町は各地区で町政懇談会を開催。行政と住民が議論を重ねる中から、「地域を再

生する力は住民自治しかない」という気運が町中に醸成され始めました。

昭和49年から地区ごとの自治会が結成され、どうすれば地域がよくなるかを住民が真剣に話し合い、自治

協働のまちづくり

—自治会制度の取り組み—

会館も地域住民自らの手によって建設されました。こうして「自分たちの地域は自分たちでつくる」という強い住民意識と、行政と地域住民による「協働」のまちづくり

が確立されたのです。

▼地域ミニ計画と職員の地域分担制

住民の手による地域自治が成功した背景には、現在でも行われている「地域ミニ計画」と「職員の地域分担制」という2つの制度があります。

地域ミニ計画とは、地区ごとに「自分たちの地域をどうつくっていくか」というビジョンを住民自身が描くもの。毎年策定する計画の中で、自治会ができるものは自治会で行い、全町的な課題は行政が総合計画に織り込みます。陳情や要望というスタンスではなく、

計画段階から住民が町政に参画すること

で、責任を共有しながらまちづくりを進めています。

職員の地域分担制とは、すべての役場職員が、それぞれの住む地域の一員として自治会に積極的に

参加し、官・民一体で地域振興を促進するもの。総務部門の活動など、主に自治会のサポート役として職員が活躍しています。これにより、詳細な行政情報を地域に提供できることや、職員が住民ニーズを的確に把握できるという効果もあります。

▼地域の課題は地域で解決

多様化・複雑化している現代社会の地域問題を解決するためには、住民同士の支え合いが必要となります。

藤沢町の自治会では、地元の雇用を確保するために、地域の住民が少しずつ土地を譲り合って地域内に工業団地用地を確保したり、介護保険制度の要介護認定から漏れた高齢者を支援するために、自治会館でデイサービスの役割を果たすサロンを開いたりするなど、行政だけでは行き届かない細やかな対応策を実行しています。

山形県遊佐町



PROFILE—ゆざ

- 面積／208.41km²
- 世帯／5,095世帯
- 人口／17,881人

≫山形県の最北端に位置する自然に恵まれた町。西に庄内砂丘を隔て日本海に臨み、北は東北一の秀峰・鳥海山を境に秋田県に接し、東は出羽丘陵に囲まれ、南は酒田市、八幡町に接している。平たん地は町土の約28%で、地形は山間・平野・砂丘地帯に大別される。

▼豊かな自然を守るために

町内の上水道を鳥海山ろくの湧水と井戸水で賄う遊佐町の豊かな水資源も、大規模な河川改修や雑排水の流入などにより、近年急速に失われつつあります。このため遊佐町では、平成15年3月に「環境基本条例」を制定し、ごみの減量化やリサイクルの推進、エネルギーの節減が住民の責務として明示されました。また、「不法投棄監視員」制度や、住民の声を発端とする「高山植物保護条例」の検討など、町全体の環境を守りながら環境と都市の共生を目指し、住民と町が一緒に考えて考え行動しています。

▼地方分権の時代へ

「変革の時代である現代。国際

環境と都市の共生を目指して

—参加と協働、そして共生—

に、教育や福祉、文化などの分野では個性的なまちづくりが重要になります。地域全体で子どもを大きく育て、個性・多様性を生かした地方分権への移行です。統合により合理化・効率化を推し進めると同時に、高度情報化、少子高齢化などの社会の変化に合わせて、行政と住民も変革しなければなりません。これまでの画一性・均一性を重視した中央集権的な体制から、個性・多様性を生かした地方分権への移行です。統合により合理化・効率化を推し進めると同時に、

山形県立川町



PROFILE—たちかわ

- 面積／190.82km²
- 世帯／1,843世帯
- 人口／6,910人

≫山形県の北西、庄内平野の東南部に位置する山間丘陵の町。霊峰月山を南端に月山を源とする立谷沢川に沿う月山ろく地域と、日本三大急流の1つ最上川の河畔に開けた平野部との静かな山間丘陵地の町で、内陸地方と庄内地方を結ぶ分岐点に位置する。

▼逆転の発想から

日本海の影響と山岳の地形により4月から10月にかけて立川町に吹く季節風「清川だし」のため、住民は古くから農作物の被害や大火に悩まされてきました。この風は、岡山県の「広島風」、愛媛県の「やまじ風」と並んで「日本三大悪風」として知られています。平成5年、この悪風を逆手にとつて町おこしに利用しようと、後に立川町のシンボルとなる巨大な風車3基が建設されました。

風力発電のまちづくり

—クリーンエネルギーとまちづくり—

平成8年には、二酸化炭素の削減を始めとする地球温暖化問題に対する本格的な風力発電の導入を目指した「立川町新エネルギー導入計画」を策定し、環境に優しい

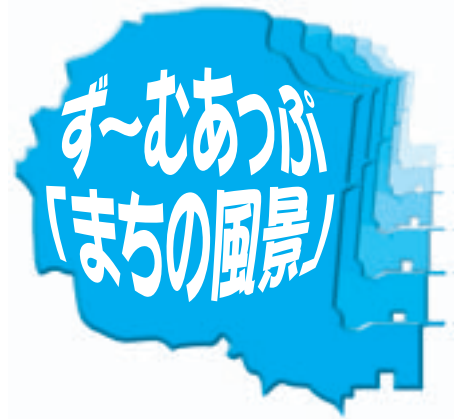
クリーンエネルギーとして風力発電事業を展開してきました。

現在では、風力発電の先進地として知られるデンマークなどから輸入した11基の風車によって、町内で使用される電力の約半分を賄うことができます。

▼環境のまちづくり

立川町では、風力発電の導入を推進する

とともに、昭和62年に有機コンポスト生産施設を設置し、町内で発生する生ごみの全量をもみ殻や畜ふんと混ぜ合わせてコンポストを生産。安全で土に優しい有機質完熟たい肥として水田に還元し有機米生産に結び付けるなど、有機農業と資源循環型社会の形成にも力を注いでいます。



●村の薫り高い文化・芸術に直接肌で触れる

10月26日の畑正憲さんによる文化講演会で幕を切り、11月17日の小柴昌俊さんによる文化講演会で幕を閉じた今年の「東海村文化祭2003」。村民の文化・芸術の集大成ともいえるこの催しは、日ごろの文化活動の成果を発表するとともに、伝統文化の継承・発展を図ることを目的に行われているもの。舞踊・芸能等の発表、生け花・水墨画等の展示が行われた東海文化センターや総合体育館等を訪れた人々は、一つひとつの作品に足を止め、目で見て心で感じつつ、村の薫り高い文化・芸術に直接肌で触れていました。



●ムツゴロウさんのユーモアたっぷりの講演会

10月26日から11月17日まで行われた「東海村文化祭2003」の初日に「文化講演会」が東海文化センターで開催されました。これは、文化祭の一環として各界の文化人・著名人による講演会を毎年実施するもので、今回は、ムツゴロウさんでおなじみの畑正憲さん(作家)を講師に迎え、「命に恋して」と題して行われました。畑さんは、豊富な体験をもとに「命と命のぶつかり合い」を、パンダやゴリラなどの感情表現の鳴き声を交えた語り口で話し、来場者は、そのユーモアたっぷりの話に魅了され、熱心に聞き入っていました。



●多くの家族連れが楽しいひとときを過ごす

10月19日、サイクル機構太田区(杉山顕壽区長、71世帯)による「太田まつり」が、団地内の集会所で開催されました。この催しは、転勤等により住民の入れ替わりが激しい団地内の融和と親睦を図るため、「いきいき地域活力事業」の一環として行われているもの。今年で3回目となった今回は、家族連れを中心に約150人が会場を訪れ、焼きそばや綿菓子の模擬店、ジャンケンゲームなどを楽しんでいました。中でも、飛ばした距離を競う紙飛行機大会では、子どもから大人まで大勢が参加し、大いに盛り上がっていました。



●待ち焦がれた秋の豊作に満面の笑み

10月21日、舟石川幼稚園(市毛紀子園長、園児数119人)の4・5歳児118人が、舟石川地内の農園でサツマイモ掘りを行いました。この行事は、土に親しむ機会の少ない現代の子どもたちに、植物の芽生え・成長を観察する機会を与え、日常経験することが少ない感動や喜びを味わってもらうことを目的とするもの。慣れない手つきながらも丁寧に、そして慎重に土をかき分けていると、突然「あっ！」と声を…。真剣な表情から一転、満面に笑みを浮かべ、自分の顔よりも大きなお芋を持ち上げながら大喜びをしていました。

●世界一？ 長～い芋ようかん作りに挑戦！

11月3日、「青少年いきいきフェスタ」が東海南中学校の体育館およびグラウンドで開催されました。今年で20回目の「東海やったん祭」と同時開催されたこの催しは、高校生・中学生を中心としたイベントの企画などを通し、自主性・協調性を養いながら相互の交流を図ることを目的とするもの。数多い催し物の中で、茨城県の特産「紅あずま」を使って世界一？ 長い芋ようかん作りに挑戦した参加者たちは、甘い香りに包まれながら作った、長さ“309メートル(国内最長)”もの出来栄えにとっても満足した様子でした。



●外国人の視点から日本を見る

11月3日、中央公民館で「外国人の日本語によるスピーチ」が開催されました。これは、村内または近隣市町村在住の外国人を対象に日本語でスピーチする場を提供することで、地域住民との相互理解と交流、親睦を深めることを目的に行われたもの。この日応募があった外国人12人が、日本で生活する上での習慣や価値観の違いから生じる疑問点や意見、また、来日してからの出来事や考えたこと、感じたことなど、外国人ならではの視点から見た日本に、会場を埋め尽くした聴衆は新鮮な面持ちで耳を傾けていました。

文芸とうかい

【俳句】

大欠伸ついにコスモス揺らしけり

白方 柴田 一声

石庭の石より冬の来しを告ぐ

村松 川崎 常義

秋蟬の声漫がし萩の里

舟石川 宮本 直

手を合せ祈る彼方は秋深し

舟石川 舛井 愛子

街路樹の木の実拾える散歩にて

船場 島中 睦子

赤とんぼ竿の先にて思案顔

外宿 照沼あや子

秋深し遠嶺の雲の速さかな

南台 助川 千代

世話かけた大菊ひらき涙する

外宿 西山 純一

北風に落葉舞いとぶ夕景色

豊岡 中島エミ子

筑波嶺の秋日に暮るる薔薇の園

村松 松本 正勝

水澄みて鮭の勇姿を透かしおり

舟石川 佐藤 とよ

老人の歩みのんびり蕃花

白方 根本 武

蝦蟇が池釣り人も無く陰々と

村松 正木 幹夫

うち寄せる波白々と冬に入る

南台 渋谷めぐみ

【短歌】

いわし雲空移りゆく夕べにはこおろぎ鳴きて秋

深みゆく 船場 村上より子

指導者からのメッセージ

少年育成
体験記
PART. 45



少年サッカーの指導を通して

荒谷台サッカー少年団指導員

村松 山崎 裕基

少年サッカーの指導を始めて11年になります。荒谷台サッカー少年団の指導員不足の折、当時の伊藤団長に申し出て始めました。今思うと、練習メニューはつたないものでした。それでも、教え始めて半年で、いつも大敗していた相手と2対4の接戦を繰り広げたときには、子どもたちの張り詰めた戦いぶりに、私も、育成会の父母たちも、体が震えて泣き出しそうになる感動を覚えたものです。そのときの感動や、休まずに練習をすれば必ず上達するということを、すべての子どもたちに体験してほしい

て、サッカーの指導を続けています。

子どもが、少年団にやってくる目的はさまざまです。また、運動能力や心の発育段階も異なります。好きなスポーツをしたい、遊びたい、おしゃべりをしたい、友達をつくりたい、試合に出て頑張りたい……。そんなすべての子どもの要求に応えたいという意識を持って指導に取り組んできましたが、これがなかなか難しい。練習メニューにしても、学年運営にしても、これが最善であるときは思っています。5年ぐらい経て振り返ってみると、まだまだだったことに気が付きます。その場合は、自分の誤りや未熟さを認めて修正するといった繰り返しです。少年団は小さいながらも一つの社会です。同年代の仲間や指導員・育成会の父母たちなど、一人ひとり異なる人々の集まりの中で、子どもたちは、いろいろなものを見て感じて、受け止めながら頑張っています。今、世の中は無計画・無責任・不誠実などがはらんし、なんとも情けない限りですが、サッカーを通して、子どもたちが、真つすぐで思いやりの心を持つ青年に育つことを願っています。

平成16年は、荒谷台少年団発足35周年に当たり、8月に、阿漕ヶ浦公園で記念行事を行う計画があります。そこには、懐かしい顔が集うことでしょう。

おのずから空地の端に山茶花の満開となり秋ふ
かまりぬ

船場 中井川しげ

金木せいほのかに香る朝の五時初孫生れ札幌に
発つ

内宿 飛田 静峰

かたばみの小花見つけて紋黄蝶ひらひらと飛ぶ
秋の陽の中

外宿 小林美代子

北風の木々渡る風ききながら寒さ身にしむ夕茜
空

白方 野原 恵美

日照りなか暑かろうにとコスモ스에散水すれば
うれし顔する

照沼 佐藤 昇

狭き庭にミニトマト三本植え十一月でも朝の膳
飾る

舟石川 工藤和一郎

新米が不作の中で届く朝わが田吹く風露珠の香
り

内宿 村上 文江

葉かげよりしずかに咲きし朝顔の実をつけし蔓
からからとそよぐ

外宿 高槌 すみ

降り積る紅葉落葉を身に纏ひ山路に咲きし小菊
愛ほし

南台 根本内俊男

騎馬戦で相手を倒し引き揚げる笑顔の少年は小
柄な生徒

村松 高橋 正弘

紅葉にやや早くして林道に沿う深き谷木々重々
し

舟石川 小川志つ江

ほくほくの君のむきたるゆで栗を臥してわれ
はしみじみと食む

村松 高橋 道子

紅葉のもみじ通りに石仏の観世音あり幾世過ぎ
しか

船場 舛井庫之助

【川柳】
ゴルフ好き鐘の数ほどよく叩き

南台 谷 ひろし

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 55



“No.5”のプレーヤー(中央)が
今月のエッセイスト

関東大会に出場して

東海中学校3年

村松 沼田 郁美

東海中学校女子バスケットボール部は、今年の夏に行われた県大会で優勝し、関東大会出場の切符を手に入れました。今年のチームは他と比べ、平均身長がとても低いのですが、スピードや持久力、精神面では、どのチームにも負けないという強い気持ちで全員が持つようになっていました。その強い気持ちを胸に、今年の大きな目標だった関東大会に挑んだのです。

東海中学校はシード校だったので、2回戦からの出場でした。“茨城”の看板を背負っているということからも、悔いの残らない良い試合をしようと思つて必死に頑張りました。初戦は、終わってみると2点差で勝っていました。すごくうれしかったけど、すぐに気持ちを切り替え、私たちは3回戦に挑みました。しかし、今度はみんな思うようにプレーができず、どんどん点差が開いていく一方で、瞬く間に第4クォーターになってしまい、気が付くと試合終了のホイッスルがコートに響いていました。「あと一つ…、あと一つ勝てば全国大会に進んで、もう少しこのチームでプレーできたのに…」と、今まで味わったことのない悔しさだけが残ってしまいました。でも、今思うと、関東大会に進めたのが夢のようなことで、ものすごいことだったので。これは、自分たちの力だけではなく、二川先生をはじめ多くの方々のご指導、ご協力があったからこそ実現できたことで、皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、何でも言いたいことを言い合える、お互いを信頼し合える、そんなチームの副キャプテンとして、今までやってこれて、すごく良かったと思います。さらに、この貴重な経験を生かし、いろいろなことにはチャレンジしたいと思っています。

墨いろの俳句 ～川又南岳(書)・執木龍(俳句)～
平成16年1月5日(月)～1月17日(土)



▶ 東海村在住の俳人・執木龍さんの俳句を、水戸市在住の書家・川又南岳さんが墨で表現した書作品を展示します。新年の幕開けに季節を感じる作品を、ぜひご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。

STATION GALLERY

写真昭々真展 阿字ヶ浦1991～2003 “THERE IS THE BEACH?”
12月14日(日)～12月20日(土)



▶ 青少年期、サーフィンに没頭していた自分。砂浜を走り、波を追いかけていたあのころ…。1991年、故郷に戻り、再び阿字ヶ浦に通い始めた。海岸風景は徐々に変わろうとしていた。2003年、ここはどう変わってしまったか？

傍聴席

平成15年第4回東海村議会定例会開催中！

平成15年第4回東海村議会定例会が次の日程で開催されています。

期 日	開議時間	議会予定
12月10日(水)	午前10時	一般質問
12月11日(木)	午前10時	一般質問
12月15日(月)	午前10時	議案審議

議会を傍聴してみませんか？

定例会の本会議は、傍聴券に住所・氏名・年齢等を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。また、車いす用のリフトも用意していますのでご利用ください。傍聴受け付けは、当日の午前9時30分から議会事務局(役場議会棟2階)で行っています。

JCO第3管理棟調査特別委員会報告

前回の議会において議員提案により次の事項を目的とした20人の議員構成による委員会を設置しました。

■ 目的 9月3日にJCOより第3管理棟に関する解体・撤去の説明を受け、この件に関し議会としての意思を決定するため。

本委員会では、第3管理棟を解体・撤去すべきか、保存すべきかについて、住民の意向調査の内容等を考慮しながら、今議会(15日)での報告に向けて審議を重ねています。

問合せ

議会事務局(☎282局1711 内線1281)

知ってほしい！ 国民健康保険 1

今月から始まるこのコーナーでは、東海村の国民健康保険(以下、国保)の厳しい財政状況を村民の皆さんに知っていただくため、国保の制度と現状について他市町村との比較などを含めながらお知らせしていきます。

東海村の一人当たりの保険料は県内で何番目？

国保は地域住民を対象とし、その地域の実情に合った運営が必要になります。そのため、市町村によって課税額が異なります。平成14年度の東海村の「一人当たりの保険料」は、約6万7千円となっており、県内平均の約8万円に比べると1万3千円低く、85市町村中73番目という状況でした。しかし、平成13年度の「一人当たりの医療費」では、県内平均の約25万円に対して、東海村は約32万円と逆転しています。現在は国保加入者の皆さんが掛かった医療費に対して、それを支える保険料の割合が少ない状態となっており、この状況が東海村の国保財政を厳しくしている要因の一つになっています。

医療費の増加は私たちの保険料の負担増加につながりますので、一人ひとりが東海村の国保の現状を把握した上で、医療費の有効な使い方を考え、実際に行動していくことが必要となってきました。

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係(☎282局1711 内線1131)

図書館トピックス

新刊図書資料案内

新刊図書の他、視聴覚資料のビデオやDVDなど多数入りましたので、一部を紹介いたします。なお、視聴覚資料の貸し出しは、CD・DVD・ビデオ・カセット合せて1人2点まで、期間は1週間です。

ビデオ：①相田みつをの世界1〜3 ②世界遺産1〜50 ③にじいろのさかな ④ムーミン絵本 ⑤たべたのだから

DVD：①失われた古代生物シリーズ1〜8巻 ②藪の中(シリーズ現代の狂言) ③地球大紀行1〜6巻 ④人形劇三国志全集1〜17巻 ⑤ゼロ弾きのゴージュ ⑥かんとん折り紙入門1・2巻 ⑦千と千尋の神隠し

児童本：①フラワー・ベイビ/A・ファイン ②わたしもフラワー/板倉聖宣 ③せんのろはつづく/鈴木まもる

一般本：①異国人の見た幕末・明治 JAPAN ②有元家のおせち25品/有元葉子 ③心にやさしい百歳食 ④四季の和のつるし飾り ⑤狂言三人三様野村万作の巻/野村万斎 ⑥杖下に死す/北方謙三 ⑦瑠璃の海/小池真理子 ⑧幼児のためのお話のつくり方/J・ロダーリ

図書館の資料を大切に

図書館にある本などは、すべて皆さんの共有財産です。破いたり、切り抜いたり、落書きな

どは絶対にせずに大切に利用してください。もしも、本などを破いてしまったり、万が一紛失してしまった場合には弁償していただくことがありますので、本のお取り扱いには十分ご注意ください。なお、落書きなど、破損の著しい本を見つけた際には、お手数でも職員までお知らせください。よろしく願います。

としよかんクリスマス会

「としよかんクリスマス会」を開催します。心豊かなひとときを共に過ごしませんか？

●期 日 12月13日(土)
●時 間 午前10時〜11時30分

●場 所 多目的ルーム

●内 容 ①たんぽぽの会による絵本の読み聞かせ、人形劇「三びきのこぶた」 ②東海村少年少女合唱団によるクリスマスメドレー

休館中の返却について

休館中の本の返却は、「ブックボックス」をご利用ください。

「たんぽぽの会」によるおはなし会

日 時 毎週土曜日(第5土曜日除く) 午後2時〜3時
場 所 おはなしコーナー
内 容 絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、手遊びなどを行います。

休館日

12月15日(月)・22日(月)
23日(火)
12月28日(日)〜1月5日(月)

国民年金 知って得する だまり 国民年金



国民年金には、知っているのと得をする次のような制度がありますので、ぜひご利用ください。

- 住宅資金融資 国民年金に3年以上加入し、最近の2年間に保険料の滞納がない方は、住宅を新築・購入するときに低利の住宅資金を借りることができます。

- 教育資金融資 国民年金に10年以上加入し、最近の2年間に保険料の滞納がない方は、親族に掛かる高校や大学等の入学金・授業料・下宿代および在学中の教育資金を借りることができます。

- 年金担保融資 すでに年金を受けている方は、その年金権を担保に年金額の1.5倍以内、最高250万円まで借りることができます。

- 国民年金施設の利用 全国各地の温泉地や景勝地にある保養所は、設備も完備され、料金が安くどなたでも利用することができます。

集合徴収と年金相談

水戸北社会保険事務所と合同で「年金相談」を行いますので、お気軽にご相談ください。なお、過年度分の年金保険料の集合徴収も行います。

- ▼期 日 12月22日(月) 午前10時〜午後3時
- ▼場 所 役場行政棟2階201会議室
- ▼その他 当日は年金手帳をお持ちください。

問合せ

福祉部保健年金課国民年金係 ☎22局1711
内線1134)

食用廃油が「せっけん」に変身!? 「廃油せっけんづくり」にチャレンジ!

「廃油せっけんづくり」を体験! そのまま流すと水環境を悪化させる食用廃油が、汚れ落ち抜群で環境と手に優しいせっけんに変身。水の大切さを感じた体験学習を報告します。

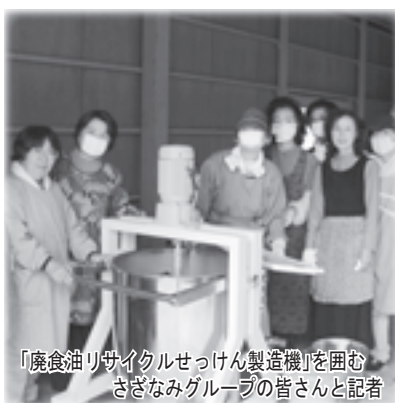
ハーモニー東海第4期を修了したうちの5人が体験を基にしてお届けする記事は、これで4回目となりました。

今回は、食用廃油を食器や衣類が洗え生分解性の高い、高品質の粉せっけんに加工する「廃油せっけんづくり」を体験しました。

東海村には、廃油せっけんをつくらせている団体がいくつもありません。今回は「さざなみグループ」のせっけんづくりに参加させていただくことができました。

せっけんの製造には、原料の油の量を基に、アルカリ水溶液をつくるカセイソーダ(水酸化ナトリウム)の量、溶かす水の量をきちんと計算して混ぜ合わせる必要があります。この工程を正しく行わないと、せっけんの中に油がそのまま残ってしまったり、アルカリ度の強すぎる使えないせっけんができてしまいます。また、その日

の外気温や用具と水の温度などの要素が微妙に関係してくるため、正しい知識と多くの経験が必要になるのだそうです。



「廃食油リサイクルせっけん製造機」を囲むさざなみグループの皆さんと記者

村では、昨年度と今年度の2年間にかけて、リサイクル推進のため高品質の粉せっけんづくりに欠かせない「廃食油リサイクルせっけん製造機」と「せっけん粉砕機」を、リサイクルせっけん協会関東事務局であるNPO「せっけんの街」を通じて購入しました。これにより十分な加熱が可能になり短

時間で油をせっけんに変えることができるようになりました。また、リサイクルせっけん協会の技術指導員認定を受けるためには、10回製造した後、製品の分析を受け、品質基準をクリアする必要があります。とのことでした。

今回の講師は、千葉県環境学習アドバイザー中岡丈恵さん。廃油せっけんづくり指導を20年間続けられてきた先駆者です。ユーモアあふれる指導で、加熱時間や液の追加、かき混ぜるタイミングなどの指示を的確に出していきます。

いよいよ仕上げ。せっけんを粉末にするためにソーダ灰(廃アルカリ)を加えます。十分混ざったらせっけん製造機から取り出したせっけんを広げて干し、粗熱がとれたところで粉砕機にかけます。まず荒目に砕き、もう一度細かく砕いて完成です。一連の作業に4時間少々かかりましたが、廃油がせっけんに変化していく過程を目の当たりにし、手作りの楽しさを感じました。

また、中岡さんのお話では「水は地球上で循環しています。私たちの使った水が下流では水源になっているように、巡り巡って必



「せっけん粉砕機」で細かい粉せっけんに仕上げる

ず私たちの口にまた入る。合成洗剤には分解・浄化が難しい化学物質が含まれているため、水道水から合成洗剤の成分が検出されることもあります。化学物質の使用量を減らし水を汚さないことが、一人ひとりの健康と地球の環境を守ることにつながるので」ということでした。

まだまだ科学的に解明されていないことが多くあります。浄水場や浄化槽に負担を掛け過ぎないためにも、まず自分の生活で使う水を必要以上に汚さないよう、生活から変えていこうと思いました。

《問合せ》 ご意見・ご感想は、ハーモニー東海取材班(事務局・企画総務部自治推進課ハーモニー・交流係) ☎28局1711 内線1343へお寄せください。

人口と世帯数

平成15年11月1日現在			
		前月比	
世帯数	12,742 世帯		+11
総人口	35,152 人		+16
男	17,709 人		+5
女	17,443 人		+11



お知らせ

青春応援メッセージを募集!

多感な青春時代を精いっぱい生きている今の若者へ送るエール、同年代の若者へのメッセージ、若者が感じている大人への思いなどをメッセージで募集します。ぜひご応募ください。

■応募資格 県内在住・在勤・在学の方、茨城県にゆかりのある方 ※年齢は問いません。

■募集内容 **青少年の部**(高校生の年齢までの方)…①自分自身や友達などの同世代の人たちに伝えたいこと／②青少年が大人や社会などに日ごろ感じていることや伝えたいこと **一般の部**(「青少年の部」以外の方)…①青少年にとって励みになるメッセージ／②青少年に対し日ごろ感じていることや伝えたいこと ※応募作品にはタイトル(題)を付けてください。また、書式スタイルは自由ですが、本文の文字数はおおむね50字以内とします。

■応募方法 平成16年1月20日(火)までに、住所・氏名(ペンネーム使用の際は、必ず本名を明記)・年齢・電話番号を記入した、はがき・ファクシミリ・電子メールのいずれかにより、(社)青少年育成茨城県民会議(〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 県立青少年会館内 ☎227-2747 FAX228-6200 電子メール seiiku@atlas.plala.or.jp)へご応募ください。

■その他 ①一人何点でも応募できますが、応募1回につき1作品となります。②作品は自作で未発表のものに限ります。③作品の著作権は(社)青少年育成茨城県民会議に帰属します。④応募作品は返却しません。

■問合せ (社)青少年育成茨城県民会議

募集

平成16年4月 保育所(園)入所(園)児募集

対象

①保護者が昼間働いている世帯②母親が出産の前後の世帯③保護者が疾病中である世帯④家庭に長期にわたる疾病人がおり、保護者が看護している世帯⑤その他、保護者が子どもを保育できない正当な理由がある世帯——のいずれかに該当し、同居する方を含め乳幼児の保育ができない世帯。

募集人員

●既存の保育所(園) **公立保育所**…①百塚保育所／②村松保育所／③舟石川保育所 **私立保育園**…④チューリップ保育園／⑤南台保育園 ※いずれの保育所(園)も、就学前児童を若干名募集します。

●平成16年4月開設予定保育園 **私立保育園**…⑥おおぞら保育園(社会福祉法人「淑徳会」東海村村松2822-1 ☎282-9500)／⑦サンフラワーこどもの森保育園(社会福祉法人「孝友会」東海村船場718-3 ☎285-9288) ※いずれの保育園も、就学前児童を60人募集します。

申し込み・問合せ

福祉部福祉課または既存の各保育所(園)に備え付けの「保育所入所のしおり」の保育所入所申込書・家庭状況書兼保育児童家庭調査票に必要事項を記入し、保育できない理由を証明する書類(就労証明等)を添付の上、12月15日(月)から25日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時30分から午後5時15分までに、福祉部福祉課児童福祉係(内線1168)へ申し込みください。

無料
費無

心の病気を持つ人と家族のための教室

- 期 日 12月19日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 保健センター
- 対 象 心の病気を持つ人とその家族など
- 内 容 家族の接し方(講話、演習等)、懇談、意見交換など
- 問 合 せ 福祉部保健年金課保健予防係(内線1137)

投与回数
全部で2回

生ポリオワクチンの投与

■日 程

①	12月24日(水)	13:00～13:45
②	12月25日(木)	13:00～13:45

※①、②のいずれかの日程でお受けください。

- 場 所 保健センター
- 対 象 生後3か月から90か月までの乳幼児
- そ の 他 当日は自宅で体温を測り、母子手帳を忘れずにお持ちください。
- 問 合 せ 福祉部保健年金課保健予防係(内線1135)

12月の休日診療日程

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時
問 合 せ 救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)

期日	病医院名	電話番号
14日(日)	東海病院	282-2188
21日(日)	東原クリニック	283-2301
23日(火)	東海病院	282-2188
28日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
30日(火)	尾形医院	282-4781
31日(水)	尾形医院	282-4781

ご注意
ください

消防署の救急搬送は無料です

最近、県内で救急搬送された家族に対し、消防職員を名乗る者が救急搬送の名目で金銭を詐取する事件が発生しました。消防署の救急搬送は無料ですので、ご注意ください。

- 問 合 せ 消防署救急救助係

開 催
します

白方小学校移転改築に伴う学区内住民説明会

■日 程 等

期 日	場 所	対象地区
12月16日(火)	豊岡集落センター	豊岡、亀下
12月17日(水)	白方コミュニティセンター	白方、岡、サイクル機構百塚
12月18日(木)	百塚集会所	百塚
12月19日(金)	豊白集会所	豊白
12月20日(土)	白方コミュニティセンター	真崎

- 時 間 午後7時から
- そ の 他 開催日には、それぞれ対象地区を設定していますが、いずれの開催日でも参加することができます。
- 問 合 せ 教育委員会学校教育課企画総務係(内線1412)

東海村親子スキー教室参加者募集

- 期 日 平成16年2月7日(土)・8日(日)
(1泊2日)
- 場 所 福島県アルツ磐梯スキー場
- 宿 泊 先 ロッジ&セミナーアルツ
- 対 象 村内在住・在勤・在学で、小学生以上の方(小学生のみの参加は不可)
- 定 員 先着40人
- 参 加 費 ①中学生以上…17,000円/人 ②小学生…13,000円/人 ※参加費は1泊2食付きで、レッスン代とリフト代を含みます(昼食・レンタル代は別途)。なお、直前のキャンセルについてはキャンセル料が掛かりますのでご注意ください。
- 指 導 者 S I A(日本職業スキー教師協会)インストラクター
- 申し込み・問合せ 12月12日(金)の午後6時から、総合体育館で受け付けを開始しますので、参加費を添えて申し込みください。

エトセトラ

予防接種でインフルエンザに負けないぞ!

インフルエンザを普通の風邪と同じように思っている人も多いのではないのでしょうか。全身症状を伴うインフルエンザは、感染力が強く、死亡するケースもあります。インフルエンザの一番の予防方法はワクチン接種ですので、早めに予防接種を受けましょう。また、予防接種のほかにもインフルエンザを寄せ付けない日常生活でのポイントとして、①十分な栄養と休養をとること②できるだけ人込みを避けること③室内が乾燥しないように気を付けること④帰宅後うがいと手洗いを行うこと——があります。

- 問 合 せ ひたちなか保健所健康指導課(☎265-5647 ※月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分)または福祉部保健年金課保健予防係(内線1134)

東海村議会議員一般選挙について

投票日

平成16年1月18日(日)

投票時間

午前7時～午後8時

告示日(立候補受付日)

平成16年1月13日(火) ※立候補の受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

立候補予定者および出納責任予定者説明会

- 期 日 12月19日(金)
- 時 間 午前9時30分から
- 場 所 役場行政棟5階原子力視察研修室
- 問 合 せ
東海村選挙管理委員会(企画総務部総務課内線1313)

生活ダイヤル●主な施設の電話番号

東海村役場	282-1711	東海村心身障害者福祉センター「はまざく」	282-4599
防災行政無線放送テレホンサービス	0120-42-4848	東海村(基幹型)在宅介護支援センター	287-2516
東海村合同庁舎(会議室の予約等)	283-3344	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344
東海村中央公民館	282-3329	東海村訪問看護ステーション	283-4836
東海村立図書館	282-3435	(社)東海村シルバー人材センター	282-3446
東海村青少年センター	282-7049	(財)東海村開発公社	284-0335
東海村総合体育館	283-0673	ひたちなか西警察署東海地区交番	287-0110
東海スイミングプラザ	287-0807	東海郵便局	282-2001
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	JR東日本東海駅	282-2008
東海文化センター	282-8511	常陸海浜広域斎場	265-7191
東海ステーションギャラリー	287-3680	救急病院の案内	救急医療情報コントロールシステム 241-4199
東海村立東海病院	282-2188		東海村消防本部・消防署 282-2038
東海村保健センター	282-2797	災害情報案内専用ダイヤル	283-4919
東海村清掃センター	282-7289	東海村石神外宿浄水場	282-9200
東海村老人福祉センター「みどり荘」	282-4300	(土・日曜日、祝日の断水等の連絡)	
(社福)東海村社会福祉協議会	282-2804	小・中・高校生のための心の悩み電話相談室	282-7070
東海村姉妹都市交流会館	282-0535	(毎週金・土曜日 午後3時30分～7時)	

新しい東海病院の病床数が80床に決定！ いよいよ建設に着手します

村では、「とうかい21世紀プラン」の中で、東海病院の移転・改築を重点施策と位置付け、平成13年度から新病院の建設に向けて諸準備を進めてきました。

しかし、病院の病床数は公共・民間を問わず県の保健医療計画で地域ごとに定められており、東海病院の施設充実のためには病床数を確保することが大きな課題となっていました。

このほど県の病床配分が決まり、現在の30床に50床を加えることが認められました。これにより、

新しい病院の病床数は80床となります。

新しい病院では、整形外科やリハビリ施設の新社、小児外来の強化とともに長期入院に対応できる療養病床の配置が可能となり、より一層充実することになります。

来年1月からは造成工事に着手する予定ですが、建物についても現在、基本設計の作業を進めていますので、まとも次第あらためて村民の皆さんにお知らせします。

■問 合 せ 政策審議室(内線1371)

平成16年東海村成人の集い

昭和58年4月2日から昭和59年4月1日まで生まれた方で東海村に住所のある方には、12月中旬ごろに案内状を送付します。なお、現在東海村に住所がなくても、以前住んでいた方であれば出席することができますので、出席を希望される方は、教育委員会社会教育課生涯学習係へ、お早めにご連絡ください。

- 期 日 平成16年1月10日(土)開催
- 場 所 東海文化センター
- 問 合 せ 教育委員会社会教育課生涯学習係(内線1424)

変わりました

心身障害者の有料道路割引制度

身体障害者と知的障害者を対象とした有料道路割引制度が、12月1日から変更となりました。現在ご使用の障害者有料道路割引証は、平成16年5月31日(月)をもって利用することができなくなります。今後も有料道路を利用される場合は、①身体障害者手帳(または療育手帳)②有料道路を利用する自家用車の車検証③運転される方の免許証——をご持参の上、福祉部福祉課で新規の手続きを行ってください。

●変更の概要

変更前	変更後
役場にて交付を受けた割引証(有効期限なし)を料金所へ提出し、併せて身体障害者手帳(または療育手帳)を提示する。	役場にて証明印を受けた身体障害者手帳(または療育手帳)を料金所へ提示する(証明印の有効期限は2年間)。

●問 合 せ 割引の対象者や割引率(50%)に変更はありませんが、ETCシステムをご利用の方の割引方法も変更となっていますので、詳しくは福祉部福祉課障害福祉係(内線1168)へお問い合わせください。

水道の凍結にご注意ください！

冬の寒い時期には、水道の凍結事故が多発します。水が出なくなるのはもちろんのこと、水道管が破裂などとすると修理のために高い費用が掛かってしまいます。凍結させないために①メーターボックスに発泡スチロールなどの保温材を入れる(保温材に布類を使用すると水分を含み余計凍結しやすくなります)②むき出しになっている水道管に保温材を巻き付ける③外にある散水栓の水抜きをする——など、水道の冬支度をして凍結させないように心掛けましょう。

■問 合 せ 水道課業務係(内線1153)



宿幼稚園 ● 鈴木悠斗くん

もちつき

幼稚園のお友達ともちつきをしたときの様子をかいてくれたのは「サッカーが大好き」という悠斗くん(5歳)。「ついたおもちが一番おいしかったのは…、きなこもち！」と元気に話してくれました。

ぼくの夢 Dream-38 わたしの夢



夢は…。 “優しい保育士”

中丸小学校6年 ● 飯岡 睦月

私の夢は、保育士になることです。どうして保育士になりたいのかというと、私は子どもが大好きだからです。

今年の夏休みに、私たちは保育士の仕事を見学するためにチューリップ保育園へ行きました。子どもと一緒に遊んだり、本を読んであげたりする保育士は小さいころからのあこがれでした。

保育士になりたい一番の理由は、自分で育てた子どもたちが何年かたってから会いに来てくれたとき、「あの子の子どもたちがこんなに大きくなったんだな」と実感できる素晴らしい職業だと思うからです。

これから保育士に関することをたくさん勉強してこの夢を実現したいです。もし夢がかなったら、子どもと一緒に遊んだり優しくお話ができる保育士になりたいと思います。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」
高津 知架子



先日、4歳を迎えたまな娘・麻実(まみ)はわが家のアイドル！曾祖母に祖父母に主人にと温かく見守られながら、ここまですくすくと育ってくれました。陣痛が2日半も続いた難産でしたが、産まれてきたこの子の顔を見た瞬間、そんな苦しみもどこへやら、「やったあ」と大喜び。そんな私は、姉の子のおむつを替えたり抱っこをするなどをした経験から、多少なりとも子育てには自信がありました。いざ、四六時中子どもに付きつきりになると頭の中が真っ白に…。喜びと不安が交錯しながらの生活がスタートしたので。

夜泣きはそれほどしなかったものの、ミルクを飲まなかったり、吐き出してしまったり…。この繰り返しに心配し、病院へ駆け込み、先生の「飲まない時期があるから心配ないよ」の一言で安心した日もありました。また「ミルクを少し薄めるといいよ」という姉のアドバイスを即座に実践し、飲んでくれたときは、ほっと胸をなで下ろしたこともありました。寝返り、はいはい、つかまり立

ち、そして、1歩・2歩…、「あつ、歩いた！」「しゃべった！」と娘の一挙手一投足に感動し、主人と拍手をしながら娘の成長をビデオや写真に納めています。

私は、娘が2歳になったころから習い事やサークルへ行き始めました。そこで出会った友達とはお互いに家を行き来したり、一緒に出掛けたりするほどの仲になり、今では大切な友達です。

最近娘は、私が娘に接しているように私に接してきては、優しい一面を随所に見せてくれます。そして、よく食べ、よく話し、よく笑い、「ママ！」と駆け寄ってきてます。「大きくなったらママと結婚する！」「やっぱりパパと！」なんて言いながら…。

また、主人や祖父母、姉の子に遊んでもらっているときは大はしやぎ。そんな娘の顔を見ると、こちらも自然と笑みがこぼれます。同時に、娘を温かい目で見てくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、「元氣パワー」を私にくれる娘とともに日々成長していきたいと思えます。